

各位

平成19年5月28日  
福岡県北九州市小倉北区馬借一丁目3番9号  
株式会社ワールドインテック  
代表取締役会長 伊井田 栄吉  
(コード番号: 2429)  
問い合わせ先 責任者役職名 取締役経営マネジメント室  
菅野 利彦  
電話 093-533-0540

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年12月期中間期(平成19年1月1日~平成19年6月30日)及び平成19年12月期通期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)の連結及び個別の業績予想につきまして、平成19年2月8日付当社「平成18年12月期 決算短信(連結)」「平成18年12月期 個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を、新・中期経営計画の策定に伴い下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

#### (1) 平成19年12月期中間期連結業績予想数値の修正

(平成19年1月1日~平成19年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,849	825	296
今回修正予想(B)	21,929	857	333
増減額(B-A)	1,080	32	37
増減率	5.2%	3.9%	12.5%
(ご参考) 前期実績(平成18年1月~平成18年6月)	16,226	676	248

(2) 修正理由

売上高につきましては中期経営計画に伴う改革により、各事業部門の効率化が進み、予定していた 20,849 百万円の見込みから 21,929 百万円になる見込みであります。  
経常利益につきましても、改革による影響で管理部門の効率化が進み、825 百万円から 857 百万円の見込みであります。それを受けて、当期純利益も増加する見込みであります。

(3) 平成 19 年 12 月期中間期個別業績予想数値の修正

(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	17,658	649	331
今回修正予想 (B)	17,740	553	285
増減額 (B - A)	82	96	46
増減率	4.6%	14.8%	13.9%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 1 月～平成 18 年 6 月)	13,186	380	205

(4) 修正理由

売上高につきましては、ファクトリー事業・テクノ事業の業界と職種の選択と集中を行い、業界と職種を特化することにより、当初の見込みの 17,658 百万円から若干上回る 17,740 百万円となる見込みであります。経常利益に関しましては、改革により事業価値を高める投資を進める為に、販売管理費及び一般管理費が増加し、当初予想の 649 百万円を下回る 553 百万円となる見込みであります。又、当期純利益も経常利益の減少に併せて減少の見込みであります。

(5) 平成 19 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 1 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	43,614	1,802	760
今回修正予想 (B)	47,254	1,716	798
増減額 (B - A)	3,640	86	38
増減率	8.3%	4.8%	5.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 1 月～平成 18 年 12 月)	34,850	1,172	418

(6) 修正理由

売上高につきましては、上記連結・個別の状況に同じく、改革による事業の選択と集中、業界と職種の特化により、当初予定よりも効果が早く出た為に 43,614 百万円を上回る 47,254 百万円となります。経常利益に関しましては、管理部門の効率化に伴い効率の改善は見られますが、事業価値を高める投資を進める為に当初予定の 1,802 百万円を若干下回る 1,716 百万円となる見込みであります。

但し、当期純利益につきましては、当初予定の実効税率より下がる為に、増加する見込みであります。

(7) 平成19年12月期通期個別業績予想数値の修正

(平成19年1月1日～平成19年12月1日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	36,420	1,496	764
今回修正予想(B)	38,600	1,398	720
増減額(B-A)	2,180	98	44
増減率	6.0%	6.6%	5.8%
(ご参考) 前期実績(平成18年1月～平成18年12月)	28,726	890	434

(8) 修正理由

売上高に関しましては、業界と職種の選択と集中と各部門のパッケージ化により後半の売上見込みが大きく上がる36,420百万円から38,600百万円を見込んでおります。

経常利益に関しましては、事業価値を高める投資の為に、販売管理費及び一般管理費が増加し、当初予定の1,496百万円を若干下回る1,398百万円を見込んでおります。当期純利益につきましても、それを受けて減少する見込みであります。

この度、新中期経営計画(平成19年12月期～平成21年12月期)を策定いたしました。

それに伴い、平成19年度の業績予想を見直しましたので、修正するものです。

詳細につきましては、新・中期経営計画書を別途添付資料を、参照下さい。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれております。この影響のため、実際の業績が予想の数値と異なる可能性があります。

以上

# 新・中期経営計画書

1,000億企業への布石 “事業を科学する”

(2007年12月期 ~ 2009年12月期)

2007年5月28日  
株式会社ワールドインテック



## 目次

### ．新・中期経営計画の概要

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 1． 目的           | P 3 |
| 2． ヴィジョン        | P 3 |
| 3． 事業デザインのキーワード | P 3 |
| 4． 期間           | P 4 |
| 5． 旧計画との比較      | P 4 |

### ．資料編

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1． 年度別推移    | P 5 |
| 2． セグメント別推移 | P 6 |
| 3． 会社別推移    | P 7 |

## ・新・中期経営計画の概要

### 1．目的

当社グループは、2005年9月7日付をもって中期経営計画（STEP UP 2008：2006年12月期、2007年12月期、2008年12月期の3年間）を策定し、発表いたしました。

その後、営業エリアの拡大・セグメントの拡大・事業ドメインの拡大（株式会社イーサポートの子会社化、株式会社ワールドサーチアンドコンサルティング、株式会社ウィズコミュニケーション等の新設）により、業容を急速に拡大してまいりました。

それに伴って、中期経営計画（STEP UP 2008）発表時とは様々な要件が質的にも量的にも変化いたしました。

昨年夏以降の偽装請負問題に端を発して、当業界が担う役割や提供する価値・サービスも大きく変化しております。以前より「製造請負基準書」を作成しコンプライアンスを重視してきた当社に対する、大手メーカーからの期待も大きく、業界のシェアも大幅に変動しております。

それに伴い、経営資源の選択と集中、組織力の強化、戦略的事業運営を基軸として事業戦略の見直しが必要となってまいりました。

それを、新・中期経営計画（2007年12月期～2009年12月期）として取り纏めました。

### 2．ビジョン

日本の“ものづくり現場”の人と組織の品質（クオリティ）を高め、国際競争力に打ち勝つ日本の製造業を創る。

ものづくり現場に働く人々の仕事のエージェントとして

個々の働く価値観を満たし、

心楽しく働く環境を整え

仕事のキャリアを正しく評価する事で

現在と未来の雇用の安定・安心を創る。

### 3．事業キーワード

- (1) 選択と集中
- (2) 競争優位性
- (3) 勝ちパターン
- (4) キャスト軸
- (5) コーポレートブランド
- (6) 法令遵守

#### 4. 期間 (3年間)

2007年 12月期

2008年 12月期

2009年 12月期

#### 5. 旧計画(連結)との比較

(旧)

(単位: 億円)	2006年12月期 (計画)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)
売上高	290 ~ 310	340 ~ 360	390 ~ 410
経常利益 (対売上高比率)	11 ~ 12 (3.9%)	18 ~ 19 (5.2%)	24 ~ 25 (6.1%)



(新)

(単位: 億円)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)
売上高	473	583	696
経常利益 (対売上高比率)	17 (3.6%)	25 (4.4%)	35 (5.1%)

## 資料編

### 1. 年度別推移

(単位:百万円)	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
売上高	34,850	47,254	58,305	69,619	99.8%
営業利益 (対売上高比率)	978 (2.8%)	1,551 (3.3%)	2,632 (4.5%)	3,661 (5.3%)	274.3%
経常利益 (対売上高比率)	1,172 (3.4%)	1,716 (3.6%)	2,563 (4.4%)	3,543 (5.1%)	202.3%
当期純利益 (対売上高比率)	418 (1.2%)	798 (1.7%)	1,306 (2.2%)	1,838 (2.6%)	339.6%

(個別)	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
在籍数(人)	9,411	11,744	14,838	17,802	89.2%
ファクトリー事業	8,973	9,694	12,508	14,992	67.1%
R&D事業	210	300	380	560	166.7%
テクノ事業	228	1,750	1,950	2,250	886.8%
拠点数(カ所)	69	57	75	93	
ファクトリー事業	51	30	43	51	
テクノ事業	13	20	22	29	
R&D事業	5	7	10	13	

## 2. セグメント別推移

### 【売上高】

(単位：百万円)	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
ファクトリー事業	26,996	31,048	39,225	46,446	72.0%
研究技術事業	2,554	8,600	10,600	13,500	428.6%
R & D事業		1,600	2,100	3,000	
テクノ事業		7,000	8,500	10,500	
情報通信事業	4,544	6,241	6,362	6,816	50.0%
各種サービス事業	754	1,365	2,118	2,857	278.9%
合計	34,850	47,254	58,305	69,619	99.8%

テクノ事業の業務工程の範囲拡大に伴い、ファクトリー事業よりテクノ事業系の技術者部分をテクノ事業へ移管（約5,000百万円）

この結果、2007年12月期（修正予想）でのファクトリー事業の売上が36,048百万円から31,048百万円へ減少し、テクノ事業が2,000百万円から7,000百万円に増加。

### 【営業利益】

(単位：百万円)	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
ファクトリー事業 (営業利益率)	814 (3.0%)	1,351 (4.4%)	1,850 (4.7%)	2,332 (5.0%)	186.5%
研究技術事業 (営業利益率)	121	126 (1.5%)	338 (3.2%)	530 (3.9%)	338.0%
R & D事業		44	78	170	
テクノ事業		82	260	360	
情報通信事業 (営業利益率)	128 (2.8%)	157 (2.5%)	362 (5.7%)	549 (8.1%)	327.8%
各種サービス事業 (営業利益率)	86 (11.4%)	83 (6.1%)	82 (3.9%)	250 (8.8%)	
合計 (営業利益率)	978 (2.8%)	1,551 (3.3%)	2,632 (4.5%)	3,661 (5.3%)	274.3%

### 3. 会社別推移【売上高】

(単位：百万円)	セグメント	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
ワールドインテック	ファクトリー事業・ R & D事業・テクノ事業	28,726	38,600	48,600	58,500	103.6%
ワールドエキスパーツ	ファクトリー事業	406	343	375	396	2.5%
台湾人材管理股份有限公司	ファクトリー事業	594	705	850	1,050	76.8%
イーサポートグループ	情報通信事業	4,544	6,241	6,362	6,816	50.0%
ワールドコーディネーターバンク	各種サービス事業	525	982	1,500	2,000	281.0%
ワールドサーチアンド コンサルティング	各種サービス事業	2	123	300	450	22400.0%
ウィズコミュニケーション	各種サービス事業	53	247	250	250	371.7%
その他	各種サービス事業		13	68	157	
合計		34,850	47,254	58,305	69,619	99.8%

### 【営業利益】

(単位：百万円)	セグメント	2006年12月期 (実績)	2007年12月期 (計画)	2008年12月期 (計画)	2009年12月期 (計画)	2006年度比 増減率
ワールドインテック (営業利益率)	ファクトリー事業・ R & D事業・テクノ事業	887 (3.1%)	1,410 (3.7%)	2,102 (4.3%)	2,764 (4.7%)	211.6%
ワールドエキスパーツ (営業利益率)	ファクトリー事業	23 (5.7%)	32 (9.3%)	44 (11.7%)	46 (11.6%)	104.3%
台湾人材管理股份有限公司 (営業利益率)	ファクトリー事業	39 (6.6%)	35 (5.0%)	42 (4.9%)	52 (5.0%)	33.3%
イーサポートグループ (営業利益率)	情報通信事業	128 (2.8%)	157 (2.5%)	362 (5.7%)	549 (8.1%)	328.9%
ワールドコーディネーターバンク 営業利益率)	各種サービス事業	23 (4.4%)	12 (1.2%)	45 (3.0%)	80 (4.0%)	
ワールドサーチアンド コンサルティング (営業利益率)	各種サービス事業	69	90 (73.2%)	6 (2.0%)	68 (15.1%)	
ウィズコミュニケーション (営業利益率)	各種サービス事業	6 (11.3%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	
その他 (営業利益率)	各種サービス事業		2 (15.4%)	30 (44.1%)	101 (64.3%)	
合計 (営業利益率)		978 (2.8%)	1,551 (3.3%)	2,632 (4.5%)	3,661 (5.3%)	274.3%